



<インターネットウィーク パネルディスカッション>
エンタープライズ2.0
その可能性と具体的事例

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine
土屋 信明

© Copyright 2007 Impress R&D, All Rights Reserved

プログラム概要

- 本日のパネルディスカッションについて
- パネリストご紹介
- エンタープライズ2.0導入意向調査
- エンタープライズ2.0に取り組むベンダー動向
- エンタープライズ2.0の注目技術
- 自社製品におけるエンタープライズ2.0製品への取り組み

パネルディスカッションの進め方

- 通常のパネルディスカッションでは、1つのテーマについて各パネリストがそれぞれの立場から意見を述べるという形ですが、今回は、個別のテーマについてパネリストが話したあと、パネル間での質疑応答を行うという形で進めようと思います。

パネリストご紹介

- 風穴 江
 - フリーランスジャーナリスト
- 中島 由弘
 - 株式会社インプレスR&D インターネットメディア総合研究所 所長
- 林 雄代
 - 日本電気株式会社 市場開発推進本部 ニューITエバンジェリスト
- 若尾 正樹
 - 日本アイ・ピー・エム株式会社 ソフトウェア開発研究所

■ 風穴 江

- フリーランスジャーナリスト
- スーパーアスキー記者、Linux Japan編集長を経て、フリーランスジャーナリスト。
- 主にオープンソースの業界を中心として活動しているが、最近のエンタープライズ2.0の動向にも注目し、さまざまなベンダーへの取材を通じて執筆活動に従事している。

■ 中島 由弘

- 株式会社インプレスR&D インターネットメディア総合研究所 所長
- インターネットマガジン編集長などの雑誌編集長に長年携わり、1995年から「インターネット白書」などの調査事業にもかかわり、現在は、インターネット業界の市場動向調査・技術動向の研究、調査レポートの出版、コンサルティング業務に携わる。

■ 林 雄代

- 日本電気株式会社 市場開発推進本部
ニューITエバンジェリスト
- 日本電気社内の研究所との連携により、新たなIT技術の調査研究に携わり、幅広い分野の講演、企業向けソリューションのコンサルティングに従事。

■ 若尾 正樹

- 日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア開発研究所
- IBMのマッシュアップツールQEDWikiをはじめ、Web2.0テクノロジーのエンタープライズにおけるソリューション開発に携わる。現在は、大和研究所独自のマッシュアップ開発ツールに取り組んでいる。

日本企業のエンタープライズ2.0 利用動向調査報告

- 調査内容
- 調査の結果どのようなことが明らかになったのか

国内ベンダーにおけるWeb 2.0 テクノロジーへの取り組み

- これまで取材したベンダーでは、エンタープライズ2.0に対してどのような対応をしているか
- ベンダー間の対応の違い、消極的なベンダーと積極的なベンダー
- 企業に対するソリューションとして何を提供しようとしているのか

エンタープライズ2.0の技術の中で注目すべき技術

- 企業にとって貢献するソリューションは何か
- NECでの実際の取り組みとして効果の上
がっているソリューションは何か
- StarOfficeXでは、どのようなメリットを提供するのか

自社製品におけるエンタープライズ2.0製品への取り組み

- QEDWikiや現在開発されているツールでIBMは何を目指しているのか
- 具体的にどのようなことが実現可能なのか(デモ)
- 運用上課題となることは何か